



利用案内

開館時間
9:00~17:00(入館は16:30まで)

休館日
月曜日(月曜日が祝日、休日の場合はその翌平日)
年末年始(12月29日~1月3日)
その他臨時休館日

入館料
無料 ※団体での来館は事前にお申し込みください。

施設の概要

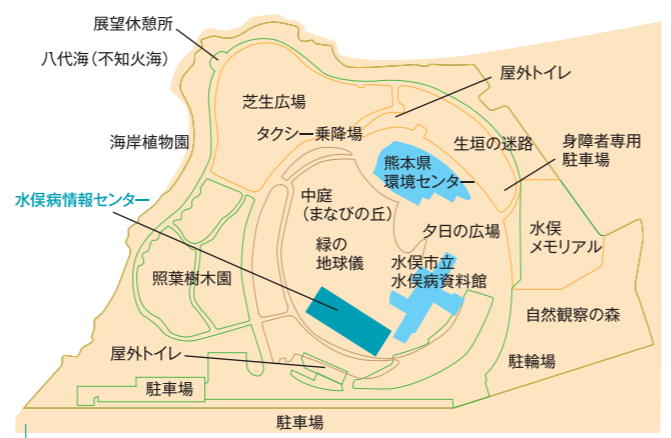
1階
バースビュー・スペース、小展示室、小会議室、事務室

2階
展示室、講堂

3階
第1資料室、第2資料室、閲覧室、資料整備室

屋上
展望スペース、展望案内板、太陽光パネル、
大気・雨水モニタリング

環境への負荷を抑制するための太陽光発電、エコボイド、
氷蓄熱冷暖房、雨水利用等の設備を取り入れています。



環境省
水俣病情報センター
MDA Minamata Disease Archives

〒867-0055 熊本県水俣市明神町55-10
TEL:0966-69-2400
<http://nimd.env.go.jp/archives>

交通案内

車利用
熊本から約1時間半、鹿児島、宮崎から約2時間
人吉から約1時間20分

九州新幹線利用
新水俣まで博多から約1時間、熊本から約25分、
鹿児島中央から約30分 ※新水俣駅からは車で約15分

肥薩おれんじ鉄道利用
水俣まで八代から約1時間、川内から約1時間40分
※水俣駅からは車で約5分
※新水俣駅、水俣駅から水俣産交行バス乗車
「水俣病資料館下」下車徒歩1分



環境省
水俣病情報センター
Minamata Disease Archives



水俣病情報センターは、
環境省国立水俣病総合研究センターの付属施設として
平成13(2001)年に設置されました。

水俣病情報センターは、
(1) 水俣病に関する資料、情報の収集、保管、整理及び公開
(2) 展示や情報ネットワークを通じた市民や
研究者に向けた情報発信
(3) 水俣病や水銀に関する学会会議や環境学習等の開催
などの機能を備えた施設です。

これらの活動を通じて、
水俣病についての一層の理解の促進、
水俣病の教訓の伝達、水俣病及び水銀に関する研究の
発展に貢献することを目指しています。

2F 常設展示

水俣病に加え、自然界にある水銀の種類・性質や動き（循環）など、水俣病の原因物質である水銀について学ぶことができます。また、水俣湾の海水及び大気中水銀濃度測定の結果を随時更新して展示しています。その他、国立水俣病総合研究センターの研究成果や世界の水銀汚染問題に関する国際貢献活動、水銀に関する水俣条約についても紹介しています。



A 水俣病のあらまし

水俣病発症の仕組みと症状の特性、メチル水銀の脳への影響や、メチル水銀の生成から海への放出、人体へ蓄積される過程、水俣湾の汚染と環境回復について展示しています。



B 水俣病の原因究明

水俣病の原因究明に至るまでの、熊本大学をはじめとした様々な組織の研究者や医師などによる研究や経緯、初期の研究年譜について展示しています。



C 水俣病と水銀の研究

物質としての水銀の存在形態やリサイクル、水銀の測定法、国立水俣病総合研究センターの水俣病と水銀の研究などについて展示しています。

講堂



水俣病に関する行事・会議などに使用し、最大240名程度収容できる施設です。

主な利用

1. 国立水俣病総合研究センター主催の行事（NIMDフォーラム、介助技術講習会等）
2. 水俣市立水俣病資料館主催の語り部講話
3. 水俣地域の振興に関する行事等



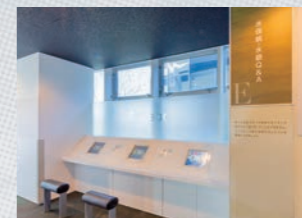
D 世界の水銀汚染問題

世界の水銀排出量、小規模金採掘時などに排出される金属・無機水銀による汚染、世界の水銀汚染問題に対する国立水俣病総合研究センターの国際貢献活動について展示しています。



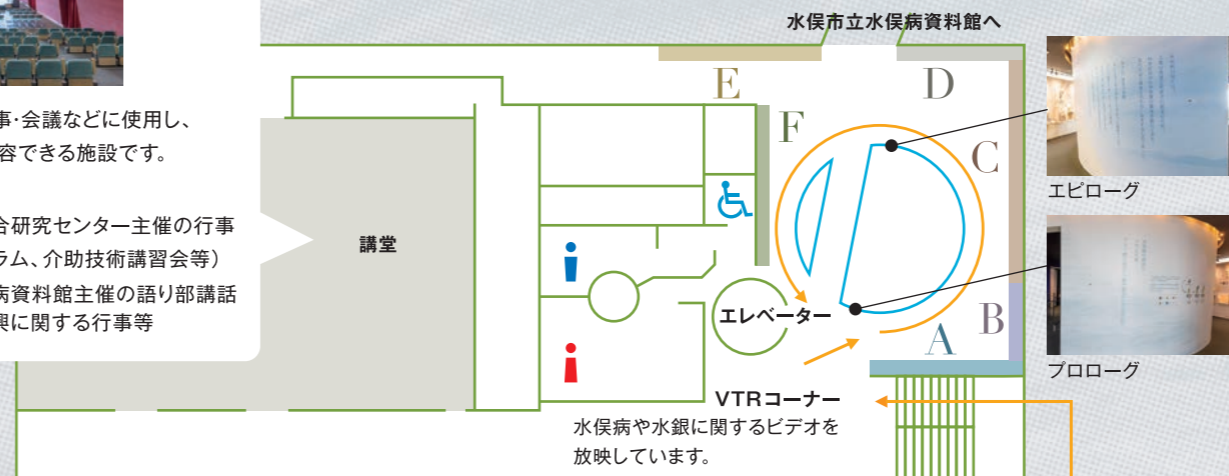
E 水俣病・水銀Q&A

タッチパネルを使って水俣病や水銀に関する疑問を解くQ&Aコーナーです。水俣病情報センターの展示空間で学んだことを整理してみましょう。



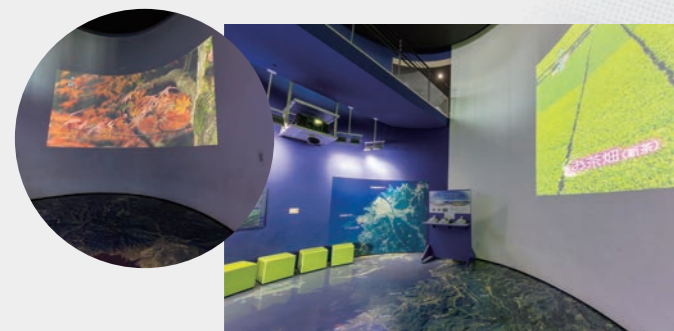
F 水俣メッセージ

現在の水俣の姿、そして未来の水俣に向けた取り組みを展示しています。水俣病の経験を生かしていけることは何か、一緒に考えてみませんか。



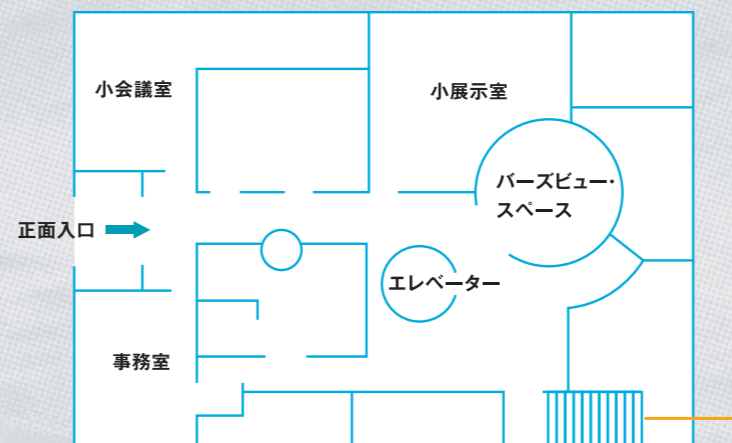
1F パーズビュー・スペース

水俣市の地形や自然、息づく風土を、上空、地上、海中の3つの視点から分かりやすく魅力的に発信する映像を壁面のスクリーンにて放映しています。また、VRコーナーでは、水俣の現在の姿（空編、山編、海編）をVRゴーグルによって360°お楽しみいただけます。



小展示室

国立水俣病総合研究センターの多様な水俣病及び水銀に関する研究、地域貢献活動、国際貢献活動から特定のテーマにスポット当てて詳細を紹介する企画展を、毎年展示を入れ替えながら開催しています。



3F 資料室

水俣病に関する資料や書籍などを収集・保管しており、一般の利用に供しています。第1資料室では主に書籍を保管しており、職員の同伴の上で入室・閲覧ができます。第2資料室では主に水俣病に関する歴史的な資料などを保管しており、事前に申請することで公開可能な資料の閲覧ができます。



屋上

屋上からは海と山の両方の景色を楽しむことができます。この他、国立水俣病総合研究センターの研究として、大気・雨水中の水銀観測を行うための研究機器が設置されています。

